

地域支え合い体制づくり がすすんでいます。

平成23年10月より12地区をモデル地区としてスタートした「地域支え合い体制づくり事業」が各地ですすんでいます。

平成24年度からは新たにモデル地区を追加し、支え合いの取り組みをおこなっていきます。



モデル地区での取り組み例

1. ネットワークづくり

地域において、支援が必要な人を把握し、見守ったり、手助けをしたりするネットワークをつくっています。また見守りの中心となる人（ハートフルキーパー）を配置したり、緊急連絡先や支援者の電話番号等がはいっているネットワークカードを作成したりしています。



2. 地域防災マップづくり

福智町ハザードマップをもとに、災害時における連絡体制をつくったり、避難所、避難経路、避難時に支援が必要な人を確認しながら防災マップを作成しています。

3. 防犯の地域づくり

地域のつながりや支え合いが犯罪に対して強い地域をつくれます。地域で過去におこった犯罪や場所等を確認したり、実際にまち歩きをしながら、危険箇所を確認し、情報をみんなで共有しながら、犯罪防止のための地域づくりをすすめています。

